

令和 8 年第 3 回教育委員会臨時会議事録

日時：令和 8 年 2 月 2 0 日（金）午後 4 時 3 0 分

場所：香南市役所 6 階 604・605 会議室

教育委員：三木守教育長、百田久範委員、中元啓恵委員、亀川孝志委員、森本美穂委員

事務局：小松(昌)学校教育課長、猪原こども課長、山崎生涯学習課長、森企画監

- | | | |
|-------|----------------|---|
| 日程第 1 | 議事録署名委員の指名について | |
| 日程第 2 | 議案第 6 号 | 教職員の人事異動の内申について |
| 日程第 3 | 議案第 7 号 | 第 121 回香南市議会定例会（3 月議会）に提出予定の議案
に対する意見聴取について
・令和 7 年度香南市一般会計補正予算（第 8 号）
・令和 8 年度香南市一般会計予算 |
| 日程第 4 | その他 | |
| 日程第 5 | 教育長報告 | |

開会 午後 4 時 3 0 分

○教育長

では、ただいまから令和 8 年第 3 回香南市教育委員会臨時会を開催します。

本日の議事日程はお手元のとおりです。

日程第 1 の議事録署名委員については、森本委員お願いいたします。

○森本委員

はい。

○教育長

それでは議題に移ります。

まず本日の議題は、議案第 6 号が香南市小中学校教職員の令和 8 年 4 月 1 日付け人事異動の内申についての承認を求めるものです。それから、追加議案で議会定例会に提出する予定の議案に関する意見聴取の 2 つになります。

いずれも非公開で行わせていただきたいと思います。また、議会の方につきましてもまだ議会提案前ということになりますので、いずれにおいても非公開という形で 2 つの議案を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（全員異議なし）

○教育長

それでは今から非公開ということにさせていただきます。

- | | | |
|-------|---------|--------------------------------|
| 日程第 2 | 議案第 6 号 | 教職員の人事異動の内申について【非公開】 |
| 日程第 3 | 議案第 7 号 | 第 121 回香南市議会定例会（3 月議会）に提出予定の議案 |

に対する意見聴取について【非公開：3月議会後に公開】
・令和7年度香南市一般会計補正予算（第8号）
・令和8年度香南市一般会計予算

（以下、非公開部分）：3月議会後に公開

○教育長

次に日程第3、議案第7号「第121回香南市議会定例会（3月議会）に提出予定の議案に対する意見聴取について」です。

これについて、各課から説明をお願いします。

○こども課長

では、先に7年度の3月補正予算について説明します。

令和7年度香南市一般会計補正予算（第8号）と書いてある分になります。2ページ目に主要事業が記載をされています。その部分は記載のとおりですので、またご覧いただいて、それ以外のことについて報告をいたします。

5ページをお願いします。左端の歳出科目と2つ右にあります、今回補正額を見ていただけたらと思います。02 児童福祉費として5ページから6ページにかけまして、放課後児童クラブ、放課後子ども教室、子育て支援センター事業、病後児保育事業、保育所に関すること、一時預かり事業、体調不良児対応事業についてそれぞれ不要額を計上しておりまして、総額3,063万2,000円減額しています。

9ページが幼稚園費になります。そちらの方も不要額を計上しておりますので、923万5,000円の減額になっています。

続いて、令和8年度の予算の方を説明しますので、まず概要の方をお願いします。令和8年度一般会計当初予算の概要の3ページの方に、令和8年度に向けて今最優先に取り組むことということで、行政改革のことが書かれています。表記にありますように、支所に関する、保育所、幼稚園、こども園の運営について、放課後児童クラブの運営について、こうなん学校給食センター調理業務の運営について、見直しを進めますということが書かれています。

その下の戦略的な取り組みの中に3つ挙げられています。次のページに「こどもまんなか香南市」のブランド化を推進というのがありまして、その中でこども課に関することはポンチ絵で継続事業の病後児保育事業（病後児対応型・体調不良児対応型）というのがあります。それと、その下にポンチ絵で、新規事業の乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）です。そしてその下にあります、特別栽培米を使った保育所給食米栽培委託料になります。

6ページの方をお願いします。持続可能なまちづくりの推進ということで、ポンチ絵で新規事業の教育保育ICTシステム導入事業です。

めくっていただくと、ポンチ絵が出てきます。これは、記載のように保護者が登園、降園をシステムで行うことと、欠席等の連絡を時間に関係なくスマートフォンから行えるということと、園の様子を写真でコメントを入れて保護者に送ることができるので、保護者はいつでも確認をすることができるようになります。それと、園で毎月登降園の時間の集計を行うものがありますが、データ化されますので、その作業が短縮されます。日中の成長記録等も様式が統一になるので、どの園に行っても同じような記入の仕方ができて、翌年度のクラスの引継が必要になっても、先生が変わったとしても、前のクラスがどうだったのかということも確認がとれるようになりますので、ICTを導入したいと思っています。

予算としましては、各クラスと玄関で使用するタブレット88台の購入を含むシステム導入委託料と、各保育室にWi-Fi環境整備を行いますので、合計で2,756万8,000円を計上しています。2月17日に議会の勉強会で、このICTシステムの導入のランニングコストについて経費削減がどのくらいになるのかとか、あと県内で導入状況がどうなっているのか、園の連絡システムのみにって電話は使わないのか、といった質問をいただいています。

概要の方については以上です。

もう1つの令和8年度の一般会計当初予算（所管分）というのを見ていただきたいと思います。めくっていただきますと、主要事業が記載されておりまして、こども課は2ページから5ページの一番上までと6ページになっています。

大多数が継続事業で新規事業としましては、3ページから上の3つ目の放課後児童クラブへ

の緊急地震速報発報端末更新業務になります。令和3年度に設置をしてから5年になることから、更新を行うものになります。

4ページをお願いします。中ほどに飛散防止フィルム設置事業というのがあります。これは、保育所とこども園において、飛散防止フィルムが貼られていないところがありますので、事業を行うにあたって設計を行うものです。

次6ページをお願いします。同じように、飛散防止フィルム設置事業です。幼稚園におきましても、飛散防止フィルムが貼られていないところがありますので、事業を行うにあたり、設計を行うものです。事業の実施につきましては、保育所、こども園と同じように設計に基づき検討を行うこととなりますが、実施自体は数年間に分けて計画的に行うこととなります。

その下が香我美幼稚園の屋根防水改修工事です。屋上防水の劣化により剥離や亀裂が生じたことにより、雨水が浸入をして軒天の剥離が起こっているため改修工事を行います。

そして、その下が香我美おれんじ保育所と香我美幼稚園の認定こども園化に向けた、必要な箇所を修繕する内容になっています。

今日、机の方に資料をお配りさせていただいておりますが、クラス数が書かれている方を見ただけだとは思いますが。3歳児クラスが1クラス減りますが、全体での受け入れは、今年度と同程度を予定しています。

主な改修工事につきましては、保育所と幼稚園を繋いでいます渡り廊下に壁をつくることと、幼稚園で会議のときに使用しています「ぼぼんぴ」という名称の部屋です。そこを3歳児の部屋にする予定ですので、保育室が使えるように壁と天井の内装を改修することと、あとエアコンの設置をし直すこと。それと、手洗いの水回りを直すことと、あとはトイレの修繕も併せてするように予定をしています。

裏面のスケジュールの方をお願いします。12月23日に保育所と幼稚園の合同役員会で一旦認定こども園化にしたいというお話をさせていただきました。その際には特段反対もなく、今と変わりが無いのであれば問題ないと思いますというようなご意見をいただいているところです。

2月17日の議会の勉強会でこのことを説明させていただきました。職員の削減による部分と一緒にやることによって、土曜日の預かりが今であれば、保育所と幼稚園でそれぞれ子どもが少なくても、職員を配置しなければいけないのが、認定こども園化になることで、職員も一定の整理ができるということを説明させていただきました。それと、クラスが1つ減るので、その職員が削減できるというご説明をさせていただいた中で、その職員の削減になる部分と、給食が自園調理になることで、調理員の増員による財政の見込みがどうなっているのかということと、3歳児のクラスが減って、1クラスの子どもの人数が多くなるので、職員の配置は大丈夫かといった質問をいただいています。今のところ、日頃の運営での職員の整理は、それほど大きくないと思っています。まずあるのであれば、所長、園長が1人になるところと、給食の方が2人ぐらい増えるようになるというふうに思っております。

あと、元の資料の方へ戻っていただいて、9ページからは歳入になっています。

13ページからの歳出について、全体的な事業内容の変更はありませんが、主要事業に載っていない改修事業が幾つかありますので、主なものについて報告をさせていただきます。

野市東こども園が4、5歳児棟の外壁の塗装と屋根の防水が劣化をしていますので、改修工事を行います。それと、1から3歳児棟の空調が老朽化によって排水機能がうまくいっていませんでした。今年度、先生にバケツでくみ出してもらって、捨ててもらったということがありますので、その改修工事を行うようにしています。

佐古保育所は、調理室の屋根の防水シートが剥離と亀裂が発生していますので、応急対応で今までやってはきていますが、亀裂が広がったりしていることが確認されていますので、防水改修工事を行います。それと、園庭にあります築山が設置からかなりの年数が経ってしまっていて、表面の土が流れて削れ、石が露出をしているということと、急勾配になっており、危険なため、今築山は使っていない状態です。そのことを直すのに、表面に土を入れてもすぐ流れてなくなるということがあるので、人工芝を貼るような工事を計画しています。

それと、野市保育所が会議室にも使ってる図書室のエアコンが壊れていますので、それを直すことと、LED化を行うようにしています。

こども課の関係で大きな金額が必要になる分は以上になります。

資料があちこちになったので、わかりにくかったと思いますが以上です。

○**教育長**

では続いて、学校教育課をお願いします。

○**学校教育課長**

まず、一般会計補正予算資料の2ページをお願いします。

学校教育課は、野市小学校地域連携室の空調取替事業、これが事業実施及び入札減による減額ということで、835万8,000円減額になってます。工事は、これ以外でも野市小学校渡り廊下の工事、また小学校体育館の洋便器化事業等で減額しています。補正予算の方は概ね減額で、あとは資料を見ていただけたらと思います。

続きまして、当初予算の概要の方からです。4ページ目を開けていただきますと、まず新規でGIGAスクール構想小学校タブレット更新事業ということで、小学校の児童分1,788台のタブレットの更新を行うということで、9,834万円の予算を組んでいます。

続いて、2つ目が新規事業として小中学校体育館空調機設置事業、これはポンチ絵がございします。750万円の予算額ということで、これ1年目は設計の事業費となります。目的は近年の猛暑により夏場の体育館使用時に熱中症の恐れがあり、授業や部活動等の中止や日程変更を行っている。学校体育館へ空調機設置による熱中症対策を実施することで、安全・安心な施設整備を図る。防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に関する中期目標について、文科省から令和17年度に体育館への空調機設置率95%が示されているため、いち早く取組を開始するというので、これを行っていきます。市長の公約になっていたこともありますし、一気に進めるということになってます。対象施設は、小学校が野市小学校、野市東小学校、佐古小学校、香我美小学校、赤岡小学校、吉川小学校です。中学校は野市中学校、香我美中学校、夜須中学校、赤岡中学校です。夜須小学校は隣接している夜須中学校と共同利用ということです。香我美中学校は体育館が2つあるんですけど、西体育館のみということになっています。小中学校10体育館の空調を順次設置していくということで、断熱性の確保のため工事を実施し、令和8年度に野市中学校、香我美中学校の実施設計をします。2校ずつやっていくということで、6年で全部仕上がるという計画で進めていきます。

また、4ページの方に戻りまして、下の方に市内の給食を特別栽培米にということで、これは昨年度からやっていますので、継続ということです。

次開いていただきまして、6ページの下の方です。赤で囲まれてるところの学校徴収金システム導入事業について、これはずっと要望もあったんですけども、学校徴収金システムを導入し、保護者の利便性の向上や学校現場における教材費等の現金徴収業務及び管理事務等にかかる負担軽減を図るということで、集金袋で集めるのではなく、この徴収金システムでやっていこうということで、令和9年度の4月からスタートできるようにということで、進めていきます。

それでは、一般会計当初予算の資料を見ていただいて、5ページをお願いします。5ページの下から2つ目が、先ほど説明した学校徴収金システムについて記載しています。1番下がGIGAスクール構想小学校タブレット更新事業ということで、これも9,834万円の予算を組んでいます。

次の6ページを開いていただきまして、一番上にあります野市小学校体育館床競技ライン・ウレタン塗装業務ということで、床が全面的に競技ライン・ウレタン塗装がなく、床材の素地が見えている状態であるということで、塗装をしていくということです。

2つ下が小中学校体育館空調機設置事業、先ほどポンチ絵で説明した事業です。

その1つ下が、同じく野市中学校体育館床改修工事ということで、ここは床材の露出やささくれが多く見られるということで、スポーツ用長尺塩ビシートを施工するということになっています。大まかにはこのような内容です。

あと同じく、勉強会の方で体育館空調機について説明をしました。その中で、香我美中学校がなぜ西体育館なのかというような質問がありました。そこは、主に体育の授業で西体育館を使っているということと、社会体育団体の利用率も高いということで、また避難所等の収容人数もあちらの方が大きいのでというようなことで、西体育館にしています。

あと、この後どのような順番になっていくのかというような質問もありました。設置順については、関係各課と協議をしまして、児童生徒数、部活動、社会体育団体利用率、避難所の災

害種別、避難所の収容人数をもとに総合的に検討を実施していきますと。その結果、野市中学校と香我美中学校から始まり、順次設置していきますということでそこまで話をしています。それで、また規模適正化等で順番が変わったり、また財政の集中プランで順番が変わっていく可能性もあるということは伝えております。

あと、財源はどういうふうになってるんだというような質問もありました。指定避難所の学校は、緊防債の対象となり、充当率 100%で 7 割が普通交付税、3 割が市の負担額ということで、その財源も使用できたらと思っています。

また、指定避難所ではない学校については、学校施設環境改善交付金プラス過疎債というのを使えたらということで、学校施設環境改善交付金というのは、交付金の算定割合の 2 分の 1 を負担してくれるということです。あと、過疎債というのは、充当率 100%で 7 割が交付税、3 割が市の負担で、環境交付金との併用は可能ということで、そういった交付金を活用していきたいと考えています。それで、質問の中でも最初の設計で 750 万ですけど、設計の分は緊防債が使えんということを確認しています。

以上です。

○教育長

生涯学習課をお願いします。

○生涯学習課

はい。それでは生涯学習課からご説明をさせていただきます。

資料で言いますと、令和 7 年度香南市一般会計補正予算（第 8 号）の 2 ページの生涯学習課の振興計画 5 のところをお願いいたします。

内容については、ここに減額が 3 つ書いてると思います。社会教育施設非構造部材耐震化の工事について、当初の金額よりも入札減がありまして、2,800 万以上の減額になっております。

それと、のいちふれあいセンターの舞台照明について、LED 化を行いましたけども、これについても当初予算が 5,200 万ぐらいの予算があったのが、決算ベースでいくと 4,600 万ぐらいに落ちたということで、これも入札減で 600 万の減が出ています。

それと最後、社会体育施設の非構造部材について、野市の総合体育館とトレーニングセンターの改修工事になります。非構造部材についての社会体育施設は今年度で完了になります。この部分についても、当初は 2 億 201 万 5,000 円の予算を取ってありましたが、全体でいきますと 1 億 6,700 万ぐらいで収まったということになります。

入札減っていうのは、本来入札を行うにあたっては、人件費とか単価的には少し高めの設定をすることがございますので、それと業者さんの企業努力というところもあります。いつもこういうふうに入札減が出てきますので、これはやむを得ない数字が出てるといふふうに考えていただければと思います。

この点につきましては、以上の内容になります。

あとは詳細ありますけれども、生涯学習は全部減額です。

3 月に向けてということで、事業精査をなささいということの財政課から連絡ありましたので、100 万以上の減額のものについては全部落としていくという話が上がっておりまして、大きな内容としてはそういうふうになります。

それでは、主な内容としては当初予算の方で説明をさせていただきます。カラーの資料を見ていただいて、1 ページ目が今年度の当初予算について記載がございます。

全体でいきますと、230 億 2,577 万 2,000 円の予算がついたと。この内容でいきますと、過去最大級の予算を計上したということになっております。昨年度に比べて 7 億 3,692 万円、3.3% 増。平成 29 年以前からも比べても、当初合併した当時は 159 億円ぐらいの予算でした。

それが今は 230 億円の予算になったということの記載がございますし、書いてる内容としては、財政調整基金という繰入金金を 17 億円から 10 億円以内に抑えるということを今まで行ってきたということですが、今回 8 億 6,000 万円の繰入金に収まったということの記載がございます。大きな内容としましては、ふるさと納税基金がもともと 5 億ベースあったものが 8 億まで上げて、3 億分の増えた部分があるので、本来ならば 12 億ぐらいの赤字が出たところを収めたというふうに全体的になっております。

それともう 1 点、これから広報にも載ります義務的経費というものが出てきます。義務的経費というのはどういうものかといいますと、人件費、扶助費、公債費というものがあ

これが今回の予算の 230 億のうちの 100 億 3,392 万 8,700 円で、前年度より 4 億円増えております。人件費の増額もありますし、医療費の増額もありますし、返済の金額の増額もあるということで、財政の硬直化がより一層進んできたというふうに思っていたらというふうに思います。

なぜ私がこんな話をするかといいますと、生涯学習課の予算ほとんど削られておりますので、今後お話をすることが規模的に少なくなっているというふうに考えていただければと思います。

まず、このカラー刷りの方から説明をさせていただきます。

ページ数を開いていただいて、5 ページ目をお願いいたします。

ポンチ絵、赤かっこで次長が作っていただいておりますので、この内容でいきますとポンチ絵の 11 番開いていただきますと、ページ数でいうと、次の 11 番、生涯学習課国民文化祭 1-1 と開いていただいて、1-2 がございます。

今までもお話しさせていただきましたが、とうとう本番がやってきたというところで、今年の 10 月 25 日から 12 月 6 日にかけて 43 日間、高知県全域で国民文化祭を盛り上げていくということで、すいません、天皇陛下がどこへ来るかという話は、近々ぎりぎりのマスコミ発表というふうになりますので、まだその分は載せておりません。行幸啓の分は載せておりませんけれども、それ以外の経費についてはこちらで計上させていただきました。開いていただきまして、次のページ、総事業費。令和 8 年度の事業費としましては、1 番の文化交流事業というのは、総事業費 350 万の予算。地域文化発信事業としましては、総事業費 416 万 6,000 円という形の全体でいきますと 700 万、766 万 6,000 円の予算を計上させていただきました。

主な内容というのは今までもお話しさせていただきました、国の団体と一緒にやるものが、漢詩の祭典を行うということと、地域文化の発信の事業につきましては、1 番から 5 番までございます香南市文化祭の開催。市展の、うちの図書館に所蔵しております所蔵展という形で、もう全体で言うと 300 点ぐらいございますので、その中で有名どころのものをピックアップして 70 点ぐらいを展示したいというふうに考えております。

あと図書館まつり。あと 4 番、5 番が商工観光課と一体で行う事業という形で、伝統芸能の祭り。全国の地の芝居ですね、のサミットを行うということで、弁天座で行うことで事業を進めさせていただいております。この 4 番については、香南市の伝統文化の踊りですね。今のところ、市の指定と県の指定になっている伝承文化の方々に集まっていたということを考えております。国民文化祭は今までもお話しさせていただいているのでこういう形になります。

続きまして、夜須防災コミュニティセンターが完成いたします。予定では、令和 8 年の 11 月末を受け渡しという形を聞いておりますけれども、夏場の、いつも工事というのは夏場に、台風の関係とかですね、大雨が降ってしまうと、若干ずれてくるという話なので、生涯学習課としては 12 月末までに完成していただければありがたいと、いうふうに思っております。それに向けて、防災対策課からちょっと事業をある程度生涯学習課も持ってもらいたいという話があったので、実際、名前がありますように夜須の防災コミュニティセンターが生涯学習課の管轄になるので備品については、私たちがまとめましょうということですので 2,000 万の事業費を計上させていただきました。これは通常のこの分です。この机とか椅子の分になります。特別な、例えばエントランスに置くようなものについては、これは言っているのかわからないですけど、入札をしてしまいますと若干減額が出てきます。その金額をもとに、大体いいものを買おうというふうに思っております。通常、ホールが 280 脚くらいの椅子と机がありますので、その部分として、残額が出てきた部分で充てるというふうに今考えております。これは、当初予算はこれにプラスして 350 万ぐらいプラスしておりましたけれど、これは、財政の方からカットという話になりましたので以上になっております。

続きまして、このカラー刷りでいきますと、6 ページの方をお願いいたします。ポンチ絵 21 とか 22、23 という言葉がございます。

ポンチ絵 21 は情報政策課の担当というふうに書かせていただいておりますけど、これはポンチ絵 22、23 と連動している事業になります。21 を読みますと、統合型公共施設予約システム構築事業ということで、今、公共施設の予約する場合は、スポーツ施設と文化施設というのはふれあいセンターと総合体育館の予約のシステムを持っております。これを一本化するとき情報政策課に入らせていただいて、商工の予約とか福祉事務所の予約を全部一本化したという事で

システムを全部一本化します。いろんな施設を予約する場合は一本化して、1人のオペレーターが全部を、例えば許可業務をまとめてやろうということで、1つにまとめるシステムを構築することで情報政策課に中心になって動いているということになります。

22、23 の公民館の、公民館施設、スポーツ施設の電子鍵の整備事業というふうになります。これは、前段で言いました、公共施設の予約システムが今までは紙媒体ばかりだったのが、電子化されます。電子化されたと同時に、公共施設の予約状況に入力されて、お金の入金までができますと、入金されると、本人のところにスマートフォンなんかパスワードが送られてきます。パスワードが送られてくると、鍵は自動の鍵があります。そこにパスワードを打ち込んでもらおうと、この部屋だけは鍵が開くというような仕組みを作りましたので、そういう形で各どっちかという公民館よりもスポーツ施設が多いのですけれども、ポンチ絵では 22、23 を見ていただきますと、いろんな施設にそういう鍵を置いてそこだけ開けられるという形で、今までは総合体育館に行かないと鍵は借りられなかった。それとか、個人にお渡ししているカードがあったのですが、それを使って開けていたということで、管理上あまり良くなかったのも、個人に白いカードを渡していたのですけれども、フリーカードがあったのですけれども、それも全部回収して、これからは個人のパスワードが送られてきて、その方が開けるという形に変えていくということで、工事はこういう形で行いますけれども、令和 8 年度は周知期間で、団体が約 300 団体ぐらいございます。ですので、今利用されている方に何回も来ていただいてそのやり方の説明をこんこんと、うちの課だけではなくて、人権課とか他の課も一体的にやるので。ただ、中心になるのはやっぱり生涯になってしまうので、団体を呼んでいただいて、こちらが説明をしていくということで、学校の開放施設の体育館についても入れます。同じような状態になりますから、学校も管理が、管理もしやすくなるというふうに思っております。

これが生涯学習課として大きな事業というふうになります。

ただし、その他の事業については、こっちの主要事業の方になりますね。こちらの生涯学習課の主要事業を見ていただければと思います。

ページ数でいきますと、7 ページ、6 ページの下端から 7 ページにかけて、になります。生涯学習課の自主事業についてです。昨年、一昨年より 800 万減って、また 300 万減りました。

自主事業としては前年度 1,282 万円の予算がついていたものが、今回は 900 万ということで予算を減らされております。内容も見えていただいたらいいのですけれども、あまり有名な方はおりません。そういう大きな事業はできなくなりました。

公民館ではコンサートという形は行います。コンサートやいつも通りの映画、こども向けの映画も行いますし、今回新しくやったのが現代のダンス活動、ダン活というふうに言います。

ダンス、体を動かすことの表現という形でこれも学校とともに行う事業になります。

初年度は学校中心というか、どっちかという交流事業、こうやって進めていきますよ、ということを周知をしています。翌年度、来年度は学校とともに事業を行います。3 年度は、その事業を公民館でみんなで表現します。これ 3 ヶ年事業という形で実施するというので、これは、文化庁の外郭団体の補助金をもらって行う事業というふうにさせていただきました。

あとは、小さな事業になりますけど、いつも通りのコンサート、ミニコンサートとかアマチュアバンドのフェスらを開催してということを考えておりますし、今回、大きな内容として予算は発生しないんですけども、夜須公民館のさよならというか、次の防災コミュニティセンターに向けてということの 1 つの催し物を開催いたします。ただし、予算は計上しておりません。

これは、もう夜須の地域の方々を中心になったミュージカルを開催するというふうに伺っておりますので、役場職員、旧の夜須の職員は全員参加というような義務づけされたような事業になっているようです。ですから、そこでその中で、公民館としては許可事業を行って、例えばその日、そこで例えばキッチンカーを来てもらってとか、そこで町の地域の人達と一緒に楽しむような事業は、私たちもともに行っていこうというふうに思っております。

これが市長のトップ判断で、本当は 600 万の予算計上しておりました、最後に行う大きな事業ということで、有名な方を呼んでコンサートやりましようとなったのですけど、これはトップ判断で削られたということになります。

国民文化祭はお話させていただきました。

次の佐古の防災コミュニティセンターの天井の話も指定避難所であって。これは、本当はですね、佐古の防災コミュニティセンターの構造部材の耐震をしたときに、こういう事業をするべきところがあったのですけれど、その時は耐震というか天井が抜けるという話はなかったのですけれど、国の基準の改正もあったというふうに担当から来ました。若干です。少し引っかけたところがあったので、これを機に全部直そうということで、吊り天井にあった部分をちょっと直すというところがあります。今回、設計をさせていただいて、工事に向かうというところになります。

次の内容については、電子の鍵の話ですから飛ばさせていただいて、次の非構造部材の公民館。社会体育施設は終わりましたが、公民館については、令和9年度までの事業になります。

今回行う事業というのが、防災コミュニティセンター3施設のうちの中央公民館、香我美市民館の工事が主な工事業業になりますし、山南防災コミュニティセンターの設計を行うということになります。中央公民館はちょっと大きな事業になりまして、債務負担を行います。単独でいきますと1億の事業費と、香我美市民館が7,900万の事業費というふうに考えております。

夜須の公民館の高圧機器、次ですけれども、これは夜須の防災コミュニティセンターができあがると同時に夜須の公民館の高圧機器をのけます。のけて1回止めます。ですから、これをどの時期に止めるかということが、これは、令和9年の3月までに、低濃度PCBを含む機器をのけないといけないとすることがありますので、本当に建設事業を止まってしまうと、遅れてしまうと、夜須の公民館を閉鎖することもできなくなりますので、これはもうタイムリミットがあって12月の末、1月の初めには工事を決めて、業者を決めて取り外しに移ってしまうので、最悪の状態は、夜須の公民館は使えなくなりながら、まだ防災コミュニティセンターができてないというふうになると、公民館事業はまだ構わないとしても、支所機能が止まります。支所が公民館中に入っているの、電気が全部止まります。ですので、その時は、いま1つの案は、福祉センターで事務所を構えるのか、もうこの1カ月、2カ月の間は支所を止めて夜須の人には申し訳ないけれども、香我美に行ってくださいとかということになりそうです。

ただし、これも工事が肅々と11月末で受け渡しが終わったら、こんなことが起きません。そういうことがずれることによって、そういうことが起きるとことは想定はされています。

ですから、ここで一応ご報告はさせていただきました。

最後、次のページになります。開いていただいて8ページ。今度はLED、照明のLED化についてです。

2027年末までに、蛍光灯のランプの製造と輸入が廃止になります。ですから蛍光灯を使っている施設については全部LED化をするというふうになっておりますので、公民館であります7つの施設について照明のLED化を行っています。

今年度は香我美市民館についてということ、それと佐古防災コミュニティセンターと富家防災コミュニティセンターと野市の図書館の設計を行うということで予算で言いますと、3,000万弱を計上させていただいて、これも令和10年末までの事業になります。

あと、ラスト1つになります。

旧の森田家住宅の登録文化財保存整備事業が肅々と進んでおります。

令和9年度に工事、令和8年度に設計という形で、令和10年度に一般公開へ向けてというふうになりました。令和8年度の金額については、主に設計の金額が入ります。これは、設計というものが、今の母屋についてはもう一部改修をして終わっております。母屋以外の部分についての設計が入ります。

今回、補助事業が採択になりまして、全体事業費の6割ぐらいが補助金で返ってくるというふうになっております。全体事業費1,000万の委託があります。

来年度は工事を大体6,500万ぐらいに考えております。

工事と備品、設計管理を含めて6,500万ぐらい。これについても6割の補助金がもらえるということなので、その内容で、一応9年度をもって完成して、10年に皆さんに見ていただくというふうなことで、一応これで終わりというふうに考えております。

その他の小さな事業、成人式が200万の事業費がありますが、本当に小さな事業はほとんどなくなってしまいましたので、ただ、セミナーの330万だけが残っていると。いきいきセミナーの330万の事業費が残されたというふうに思っていただけというふうに思います。

生涯学習課としては以上になります。

○教育長

はい。

なかなか見ていただく項目等も随分多かったもので、あれですけれども、ただいまの説明への質問等ございませんか。

○百田委員

築山、人工芝は何とか大丈夫ですか。

○こども課長

熱くない、できるだけ熱くないというものをするようにしています。

そこも、天然の芝がいいのか、人工芝がいいのか、いろいろ模索をしましたけれど、土を入れ替えるにしても、今の土台がすごくカチカチになって固いので、大幅に撤去をしなくてはならないということで、その工事費がなかなか高く、天然芝を置いてもしたが固すぎて根が張れないということで人工芝をするということになっています。

○百田委員

認定こども園になって、自前の給食で2人。これ、給食センターとの兼ね合いの中で、まだ給食センターが民営というか、委託にはなってない中で、9年度からは委託になるようになってそっちの職員が入るという、前に話がありましたよね。

○こども課長

それは正規職員。民間委託をしたときに、給食センターで勤めている正規職員の調理員が保育所の調理へ行くことになります。今、保育の方は調理の主をやってもらう方を任期付という形で雇用しているので、民間委託になるタイミングと合わせた期間での雇用になります。今、令和8年度までの任期期間になっているので、例えば10年度に民間に委託すると給食が決まったら、今、保育に來ている任期付の調理員さんを1年延長して、9年までということになって、その方たちは給食センターで人が必要となるのであればそちらで雇用をしてもらって、保育の調理については正規職員が来るということになります。

○学校教育課長

先日、行政改革推進委員会の中でこうなん学校給食センターの運営について総務の方から提案があって、その会としても、これを進めていこうということで、計画では10年度に委託開始というようなスケジュール感でスタートしていくというようなことが、この前の会議の中では承認はされたということです。9年度というお話がありましたけれども、10年度スタートという形が計画の中で提案されたということです。

○百田委員

あれは、行革でもいろいろ教育関係がいっぱい出てきて、体育じゃない。それから、産業振興計画もこれ同列じゃないですよ。行革のあれで、例えばこうせいと決まったことは、もう教育の基本方針に入るのかね。

○こども課長

そこまではないと思いますけれど。まだはっきり決まっていないので、集中改革プランの中で、8年度から10年度の間で、給食センター、児童クラブ、保育所の民間移管が打ち出されているので、それを計画通りに進めるのかどうかというのは、これからの話になるかと思います。

○百田委員

直接予算に関係ないからいいか。でも結局、足並みを揃えないといけなくなるのではないか。

○こども課長

そうです。保育の民間活力の導入についても、野市保育所を民間へ、という話と並行して、野市小学校区に公立園が全くなくなるので、野市幼稚園を0歳から受け入れをする認定こども園化というのも同時に挙げているので、今のところは令和11年の4月にどちらも同時に開園ということにはなっていますけれども。

○百田委員

行革の議事録を見ていても、規模適正化ともまた兼ね合いがあるけれども、なかなか行革のあれでも、地元の残してくれみたいな話が出ていて、その辺の兼ね合いがどうなるのかなと思

って。行革で決めたら、こっち側はそろえないといけない。そうでもない。

○こども課長

揃わなくていいです。

○教育長

この3月議会に提出する、先ほど説明しました、これらの議案に対しては、この場において承認いただいたということによろしいですか。

(全員異議なし)

○教育長

ありがとうございます。

(秘密会を解く)

○教育長

そうしましたら、議案は以上2点ですかね。

それでは、他、何か今この場で確認しておくことや提案していくことはありませんか。

○生涯学習課長

その他の案件でも構いませんか。

○教育長

はい。

○生涯学習課長

図書館の民営化に向けてということで、四万十市に視察に議員さん4名と図書館の委員さん3名と伺ってきました。図書館を見させていただいて、株式会社図書館流通センターの方々にご説明いただいて、すごく丁寧で2時間がたっぷり話し合いができたというふうに思っています。

内容としてもすごく充実していて、行政マンとしてはコストの問題です。コストは生涯学習課と、四万十市と同じコストのはずなのですけれども、2,000万くらい安いんです。コストより、2,000万円くらい削減をしております。これが1つ。それと事業内容としては、間違いなく民間の方が良かったです。それはなぜかということ、まちづくり協議会と連帯して図書館事業をやっています。そこが1点違うのは、四万十市の庁舎の中に図書館があります。2階が図書館なんです。で、その近くに商店街が降りていたらあるので、地域とすごく近いんです。

国道ぶちと商店街側とちょうどいいところに庁舎が建っているんで、いろんな事業が地域と一緒に、商店街と一緒にしやすい場所ではあります。

それといろんなところで本の予算だけではなくて、TRCというんですけど、その業者さんの強さを生かして、事業展開をしています。図書館流通センターですが、図書だけではなくてシステムの問題とか、図書の予算を全国展開やっているので、規模がでかいのでそういうことを活用した事業も、たくさんやっていました。

びっくりするぐらいにコストが安いので、詳細を伺ったのですが、今、会計年度任用職員さんの金額が毎年上がっているんですよ。もともとの設計は、私たちが指定管理でお願いする設計金額は、昔の金額のまま。今、どんどんやめられている実態がありました。

一緒に仕事しているので、フロアでは。横の例えば何々課の方々の会計年度の給料はわかるじゃないですか。こんなに差が出てくると、みんな辞めていって、普通の会計年に行っているという実態があったということは伺いましたけれど、サービスは間違いなく、うちが言ったらいけないけれど、さすが民間だと思います。丁寧です、話し方も。お客さんが来たらずっと立ち上がって礼をするとか、そういうところは見習わないといけないところがたくさんあってということで、議員さんはすごいという判断があったんですね。4人とも。反対派じゃなくて、ここまで民間ってできるんだねという話ですごく関心がありました。

それと図書館の委員さん3人とも、一旦、2人は反対の意見を持っていました。けれど行ってみたら、全然うちと同じ以上のことをやってくれと。すごく民間に任ずることによって、図書館事業は全然衰退するということに思っていたけれども、ここまでこう事業展開を毎年のように

されていたら、そこはあまりなさそうだねという話がありました。

ただこれをもってすぐに民間委託をするって話は、あまり僕の中ではまだ考えていないのが、四万十市だからできたというところがやはりあるのです。立地条件もあるので。うちは、図書館が単独であって、周辺に商工施設があるわけではないので、どこか出向いて行くまでに距離感がやっぱりあったり、四万十市とうちの商工のレベルが違うんですよ。まちづくりの点から全然違うんです。だから一体に同じようには難しいということもあるので、そこはもう少し内容を精査させていただきたいということで、その会の委員さんと議員にはお話をさせていただきました。

ただ、こういうこともやっていくと思っているので、またよろしかったら、また、四万十市だけではなくて、今、民間委託しているのは、土佐清水市と黒潮町もやっています。

なんかまた時間の皆さんがよかったら、そういうところを視察しに行って、うちの図書館とある程度同規模のところを探そうと思っているので、またお時間いただいたら、一緒に行きませんかということです。

○百田委員

四万十市と同規模。

○生涯学習課長

そうです。3万ちょっとです。まったく同規模です。

○百田委員

2階ワンフロアでここと香我美の蔵書数くらいある。

○生涯学習課長

ワンフロアというか、2階の広さでいうと、500平方メートルくらいですから、うちの図書館からいうと全然小さいです。

うちは3階まで足したら1,400平方メートルくらいあるので全然小さい。ただ、2館ありまして、西土佐。西土佐も庁舎にあります。庁舎に図書館を構えています。広さでいうと全然少ないです。けれど、蔵書を抱えている数は12万冊くらいあって、うちは7万冊しかない。要は別倉庫をちゃんと構えていて入れ替えをするんですよ。定期的に。ですから見せるやり方についても、ものがあるのと、それと職員は、もともとうちは13人おります。職員と会計年度。向こうは17人います。17人おるけどうちより安い金額でやります。だからなかなかさすがというか、どうやってやっているかという疑問はありますけれど。

すごいなという感じで終わっていました。

見ていただくと、それほど大きな図書館ではないんですよ。四万十市の2階のフロアなので。でもここに勉強する場所があって、そこに20人くらいが集まって、みんなが勉強する。また専門図書のコーナーがあったりということで、うちよりも広めに見えます。うちは、1階2階足したらそれなりの広さになるんですけれど。当時は1階に変えました。

まあ、1回ざっくり見てもらったら、地域にあります公民館というイメージがわいてくると思いますが、すごくゆったりした感じがというイメージです。

ちょっと良い悪いは別にして、コスト面から言ったら間違いなくうちより優れているなとは思いますが。また行きましょう。

○森本委員

一概に比べるのは難しいですけど、利用者数とかどうなのでしょうね。四万十市さん。

○生涯学習課長

利用者もうちより多いんですよ。13万人くらいが使っています。うちは、多くて10万人。でもうちと同レベルなので、今どんどん民間委託してから伸びていっているんですよ。

蔵書数は減っています。借りれる数は。それはネット社会なので、借りなくてもそこで見る人も多かったり、ただ、来る、そこを利用した数はどんどん増えてきています。うちよりも2万人くらい多いのかなと。ほとんど変わらないです。

それと、6,000万の中に蔵書の金額が1,100万あるんですよ。委託の中に。うちは蔵書の額は530万。ですから人件費の割合が異常に少ないんですよ。

だから、四万十市の職員数のお話をしたのは、ここまで民間と差があったらやっていけないので、本来なら指定管理の見直しをしないといけないのですよ。

今回ちょっとやろうかなという提案をしようとしていました。

月々3万ぐらい変わってきているので、この2、3年でどっと上がったじゃないですか。会計年度の給料が3万円くらい変わったので。だから、まあそういう状態みたいです。

だから、僕は金額が一緒だったらという話をしたと思います。でも、一概にこれを見て、金額安いから、一気に頼む、という気持ちは全くないです。そこはもう少し精査はしますけれど。

また情報をまたもらっているので、今度の会議でその資料を。どんな質問が来たというのを作っているの、それを見ていただければと思います。

報告だけです。

○教育長

はい。

他にはありませんか。

よろしいですか。

はい。

では、臨時と言いながらなかなか長い会になってしまいましたけども、令和8年度第3回教育委員会臨時会を終了いたします。

どうもお疲れ様でした。

閉会 午後6時30分